

## 2022 年の九州・山口県为天候の経過

- 九州・山口県では、春から秋にかけて高温が続き、九州北部地方（山口県を含む）では、夏の平均気温が 1946 年の統計開始以降 1 位（タイ）となった。
- 九州北部地方では冬（2021 年 12 月～2022 年 2 月）以降、日照時間が多い傾向が続き、年間日照時間もかなり多かった。

2022 年の季節別の気温、降水量、日照時間の地域平均平年差（比）の値を表 1 から表 3 に示す。なお、気温・降水量・日照時間の階級の色表現を表 4 に示す。また、九州北部地方、九州南部、奄美地方の気温、降水量、日照時間の地域平均平年差（比）の 2022 年の時系列図を図 1 から図 3 に示す。

### 1 季節毎の概況

**冬（前年 12 月～2 月）**・・・九州北部地方と九州南部ではかなりの少雨。九州北部地方ではかなりの多照。

12 月下旬以降に強い寒気の影響を受けたため、九州北部地方と九州南部では気温が低かった。九州北部地方と九州南部では低気圧の影響を受けにくく、降水量はかなり少なく、日照時間は九州北部地方でかなり多く、九州南部では多かった。奄美地方では 12 月後半は寒気の影響で雲が広がりやすく、1 月から 2 月は低気圧や前線の影響を受けやすかったため、日照時間は少なかった。

**春（3 月～5 月）**・・・九州北部地方でかなりの高温。奄美地方では、かなりの多雨・寡照。5 月の奄美地方の降水量は 1 位更新。

寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすく、全域で高温で、特に九州北部地方ではかなりの高温となった。奄美地方では、5 月は梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、春の降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なかった。5 月の奄美地方の降水量は 1 位を更新した。

**夏（6 月～8 月）**・・・九州北部地方と九州南部ではかなりの高温。九州北部地方では夏の平均気温の 1 位（タイ）。

夏を通して暖かい空気に覆われやすかったため、夏の平均気温は全域で高く、九州北部地方と九州南部ではかなり高く、九州北部地方は夏の平均気温の 1 位（タイ）となった。特に九州北部地方では 6 月下旬から 7 月上旬、8 月上旬の高温が顕著であった。

夏の降水量は、九州南部と奄美地方では平年並だった。6 月は梅雨前線が九州南部・奄美地方にあることが多く、7 月上旬は梅雨前線が北日本へ北上後、消滅し、太平洋高気圧に覆われやすかったため、九州北部地方では夏の降水量は少なかったが、7 月中旬と 8 月中旬にまとまった雨が降ったため、7 月と 8 月の降水量は平年並となった。また、高気圧に覆われやすかったため、九州北部地方と九州南部では夏の日照時間は多かった。

**秋（9月～11月）**・・・9月の残暑厳しく、11月は冬型気圧配置も弱くかなりの高温。9月は台風第11号・第14号の影響で多雨。

気温は、9月は暖かい空気に覆われやすく残暑が厳しく、11月は冬型の気圧配置が現れにくく高温となり、全域で秋の平均気温はかなりの高温となった。

九州北部地方では秋の後半を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多く、日照時間はかなり多かった。9月に台風第11号や第14号、前線の影響で全域で多雨となり、九州南部では秋の降水量は多くなった。

**12月**・・・冬型の気圧配置が強まり低温。奄美地方では、かなりの多雨・寡照。

12月中旬以降、西日本を中心に冬型の気圧配置が強まり強い寒気が南下した時期があったため、全域で低温となった。奄美地方では上旬に前線や低気圧の影響を受け、降水量はかなり多く、気圧の谷や寒気の影響で日照時間はかなり少なかった。

**表1 2022年の季節別の気温の地域平均平年差**

気温平年差 (℃)	九州北部地方 (山口県を含む)		九州南部		奄美地方	
	冬 前年12月～2月	-0.5	低い	-0.7	低い	-0.3
春 3月～5月	+1.1	かなり高い	+0.7	高い	+0.5	高い
夏 6月～8月	+1.1	かなり高い	+0.7	かなり高い	+0.4	高い
秋 9月～11月	+1.0	かなり高い	+1.1	かなり高い	+0.8	かなり高い
12月	-1.4	低い	-1.3	低い	-0.6	低い
年間	+0.6	高い	+0.4	高い	+0.4	高い

**表2 2022年の季節別の降水量の地域平均平年比**

降水量平年比 (%)	九州北部地方 (山口県を含む)		九州南部		奄美地方	
	冬 前年12月～2月	50	かなり少ない	49	かなり少ない	85
春 3月～5月	90	平年並	122	多い	143	かなり多い
夏 6月～8月	78	少ない	94	平年並	88	平年並
秋 9月～11月	95	平年並	123	多い	102	平年並
12月	60	少ない	85	平年並	186	かなり多い
年間(2022年)	81	少ない	102	平年並	112	多い

表3 2022年の季節別の日照時間の地域平均平年比

日照時間平年比 (%)	九州北部地方 (山口県を含む)		九州南部		奄美地方	
冬 前年12月～2月	117	かなり 多い	103	多い	88	少ない
春 3月～5月	109	多い	92	少ない	88	かなり 少ない
夏 6月～8月	108	多い	108	多い	99	平年並
秋 9月～11月	112	かなり 多い	103	平年並	91	少ない
12月	99	平年並	102	平年並	64	かなり 少ない
年間(2022年)	110	かなり 多い	100	平年並	90	かなり 少ない

表4 気温・降水量・日照時間の階級の色表現

色	気温	降水量	日照時間
	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
	高い	少ない	多い
	平年並	平年並	平年並
	低い	多い	少ない
	かなり低い	かなり多い	かなり少ない
太字は統計開始以降、更新したものを示す			

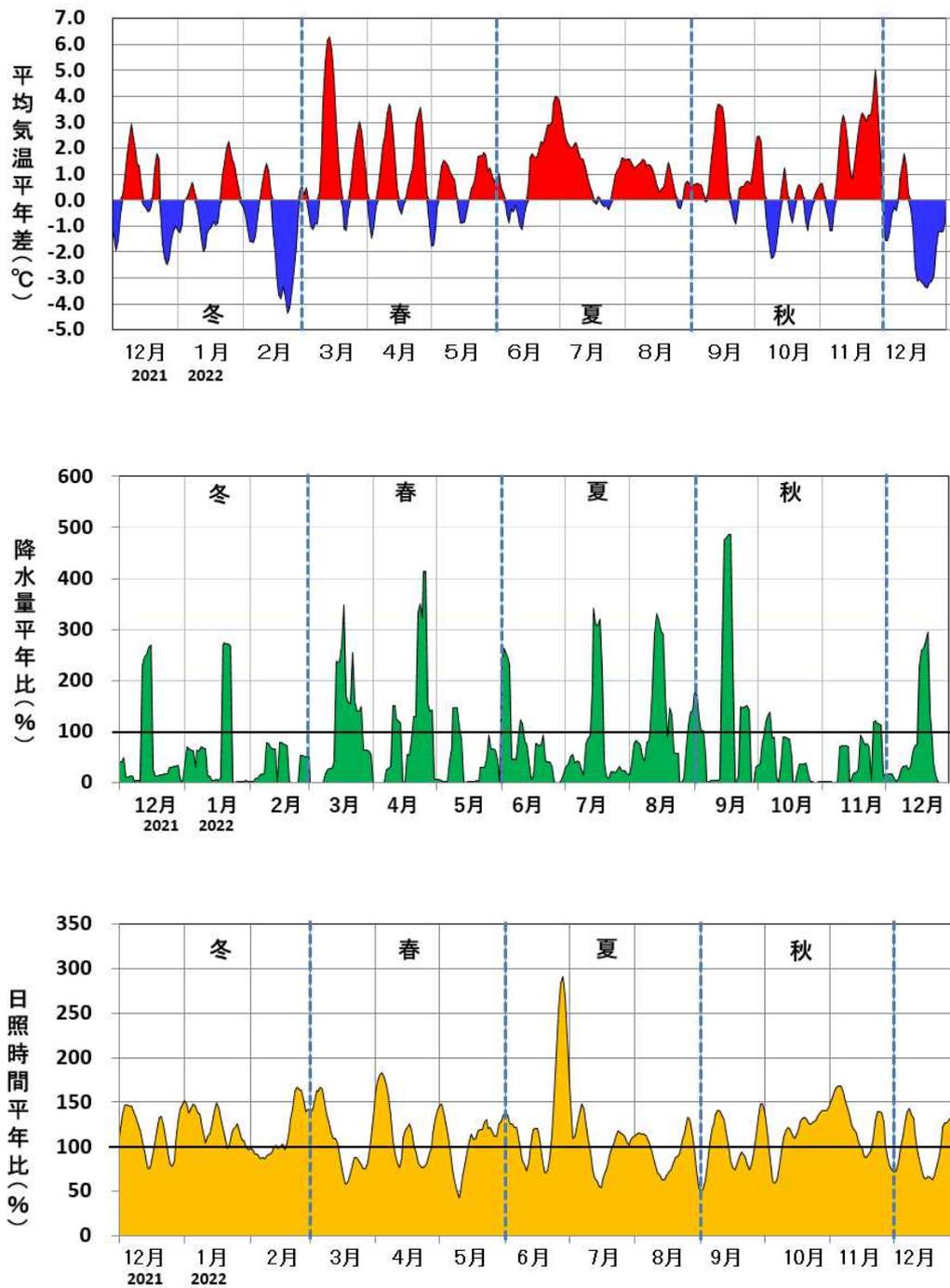


図1 九州北部地方（山口県を含む）の気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

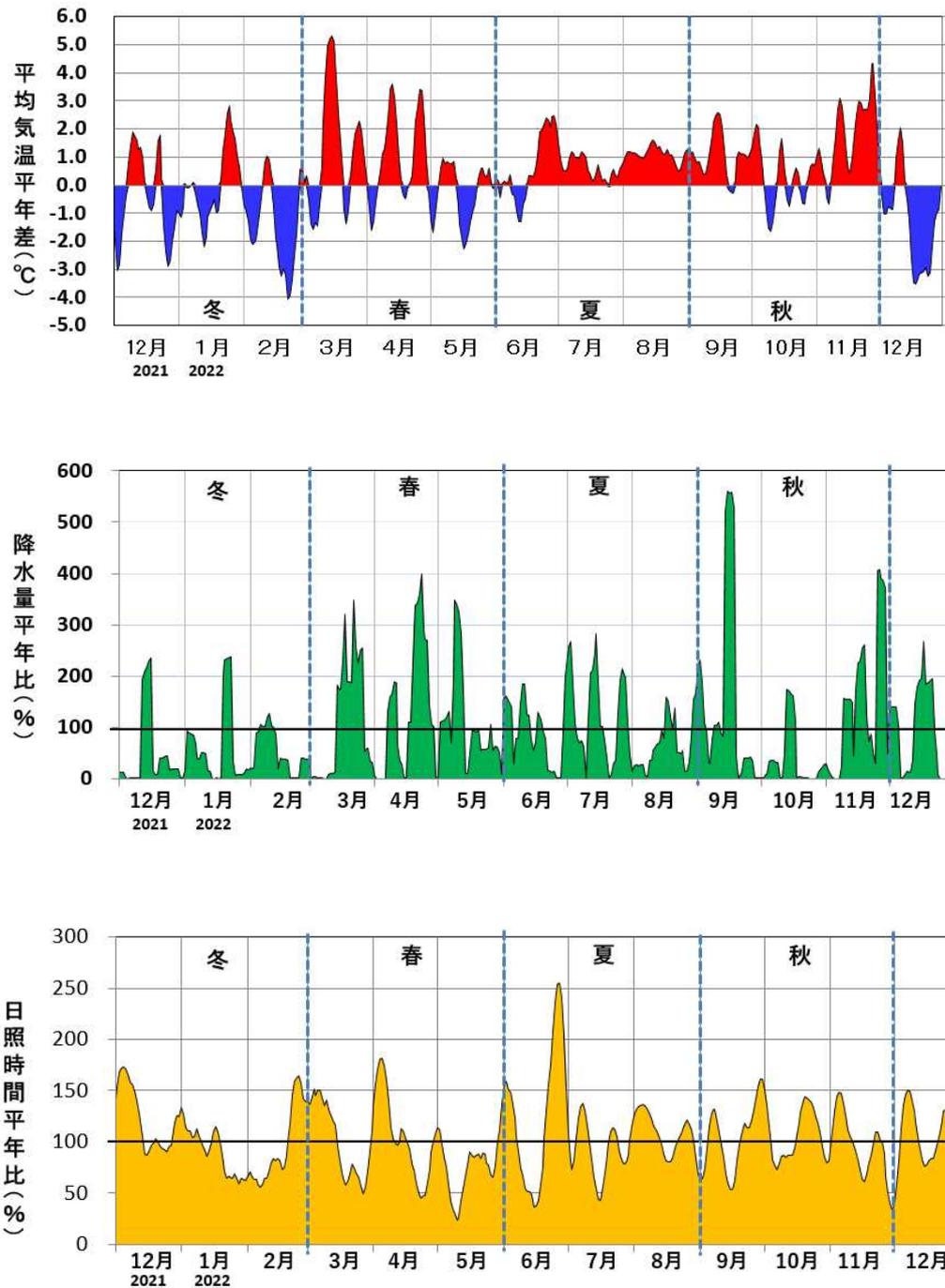


図2 九州南部の気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

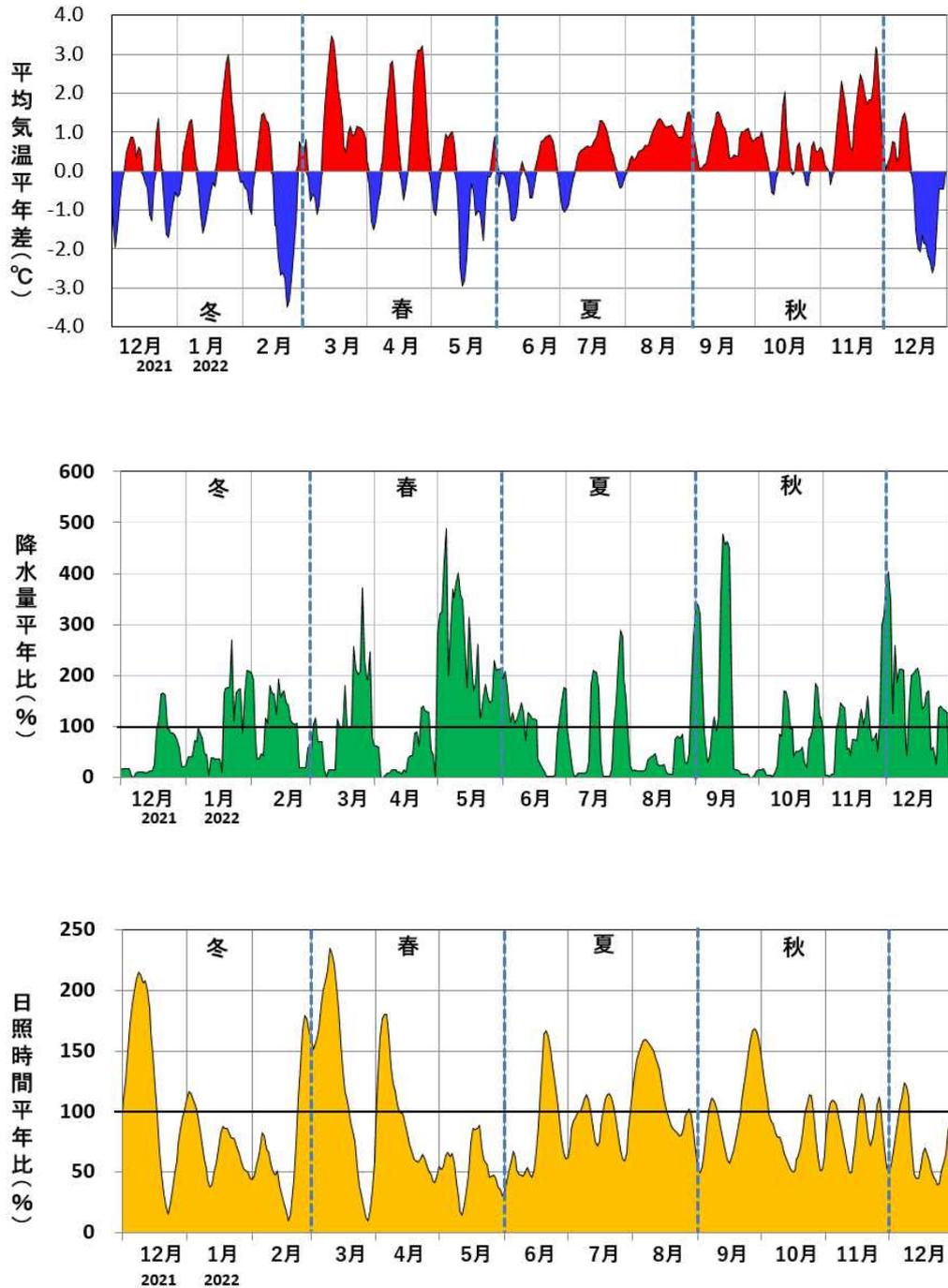


図3 奄美地方の気温・降水量・日照時間の地域平均年間差（比）

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

## 2 2022年の梅雨の特徴（表5）

### （梅雨入り）

奄美地方では、5月に入ると、梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が続いた。このことから、5月5日ごろに梅雨入りした。

九州南部・九州北部地方（山口県を含む）では、5月から6月9日ごろまでは、沖縄付近に前線が停滞することが多く、梅雨入りが遅れ、6月中旬以降、九州南海上から九州南岸付近に梅雨前線が北上し、九州南部では6月10日ごろ、九州北部地方では6月11日ごろの梅雨入りとなった。

### （梅雨明け）

奄美地方では、5月から6月中旬にかけて、梅雨前線が停滞することが多かったが、6月22日から太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、平年より早い6月22日ごろに梅雨明けした。

九州南部・九州北部地方（山口県を含む）では、6月中旬は梅雨前線が奄美地方から九州南部に停滞する日が多かった。6月22日から7月上旬にかけて太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、梅雨前線は朝鮮半島から北日本にまで北上したため、一時的に梅雨明け後の盛夏期のような天候となった。7月上旬は太平洋高気圧の周辺部の湿った空気の影響で不安定な天気が続き、7月15日から21日にかけて再び前線が顕在化し、7月22日に前線が九州南岸まで南下後弱まったところで、九州北部地方と九州南部が梅雨明けとなった。

### （梅雨の時期の降水量）

梅雨の時期の降水量は、九州北部地方では少なかったが九州南部では平年並、奄美地方では多かった（表6）。

表5 2022年の梅雨入り・梅雨明け

地域	梅雨入り	平年	梅雨明け	平年
九州北部地方 （山口県を含む）	6月11日ごろ （遅い）	6月4日ごろ	7月22日ごろ （遅い）	7月19日ごろ
九州南部	6月10日ごろ （かなり遅い）	5月30日ごろ	7月22日ごろ （遅い）	7月15日ごろ
奄美地方	5月5日ごろ （早い）	5月12日ごろ	6月22日ごろ （かなり早い）	6月29日ごろ

カッコ内は平年の時期との比較。朱書は記録更新を示す。

なお、梅雨は季節現象であり、その入り明けには平均的に5日間程度の移り変わりの期間がある。

表 6 九州・山口県の主な地点における 2022 年梅雨の時期の降水量

	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	平年値 (mm)
九州北部地方 (平年比 68% 少ない)	下 関	445.0	79%	563.0
	福 岡	244.0	45%	548.7
	佐 賀	492.0	71%	693.8
	長 崎	524.5	83%	628.6
	熊 本	521.0	62%	835.3
	大 分	440.5	77%	574.9
九州南部 (平年比 106% 平年並)	宮 崎	1007.5	118%	855.6
	鹿 児 島	901.2	96%	935.1
奄美地方 (平年比 155% かなり多い)	名 瀬	977.5	139%	705.5

九州・山口県の 6～7 月（奄美地方では 5～6 月）合計降水量（平年値は 1991～2020 年の平均値）なお、平年比は九州北部地方（山口県を含む）では、萩、山口、下関、福岡、飯塚、佐賀、長崎、厳原、平戸、佐世保、福江、雲仙岳、熊本、人吉、牛深、大分、平戸の 17 地点、九州南部では、宮崎、延岡、都城、油津、鹿児島、阿久根、枕崎、屋久島、種子島の 9 地点、奄美地方では、名瀬、沖永良部の 2 地点で算出。

### 3 2022 年の台風

台風の上陸は 2 個あり、台風第 4 号が長崎県佐世保市付近に、台風第 14 号が鹿児島県鹿児島市付近に上陸した。九州北部地方（山口県を含む）、九州南部、奄美地方への台風接近数は表 7 のとおりである。

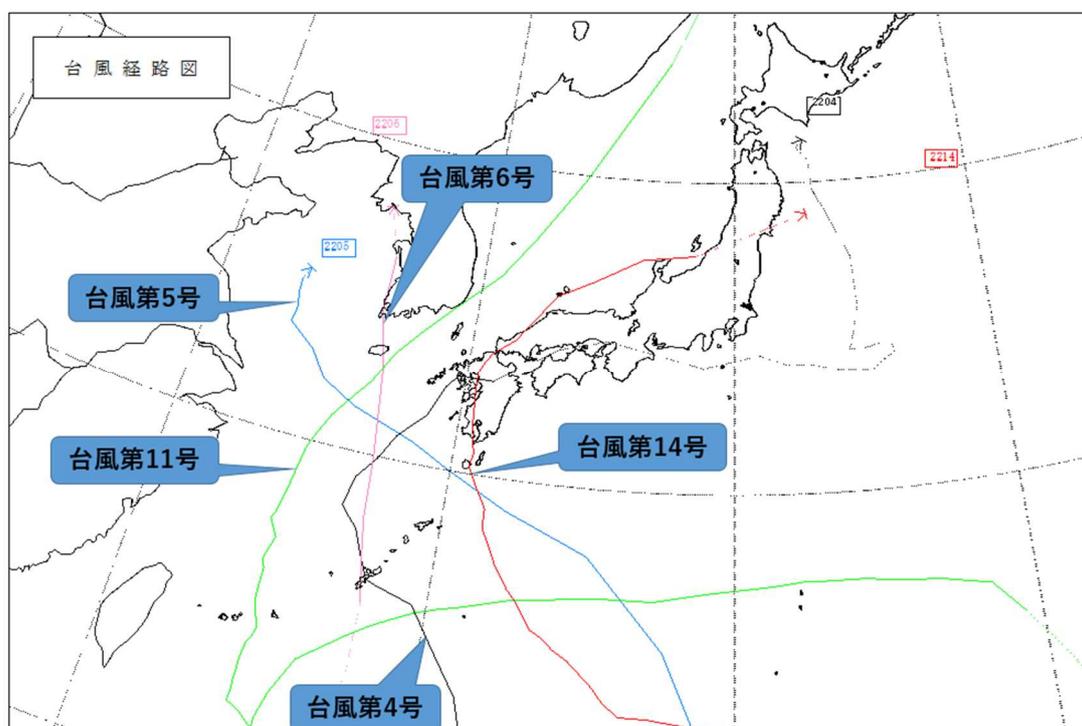


図 4 九州（山口県を含む）及び奄美地方に接近・上陸した台風経路図

**表7 九州（山口県を含む）及び奄美地方への接近数**

2022年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
九州北部地方							2	1	2				5
平年値				0.0	0.1	0.3	0.8	1.1	1.1	0.4			3.8
九州南部							2		1				3
平年値				0.0	0.1	0.4	0.7	1.0	1.2	0.5			3.9
奄美地方							3	2	1				5
平年値				0.0	0.2	0.4	0.7	1.1	1.3	0.7			4.3

※本表は台風の発生月別にまとめたもの。台風によっては発生月と接近月が違う場合があるがここでは示さない。